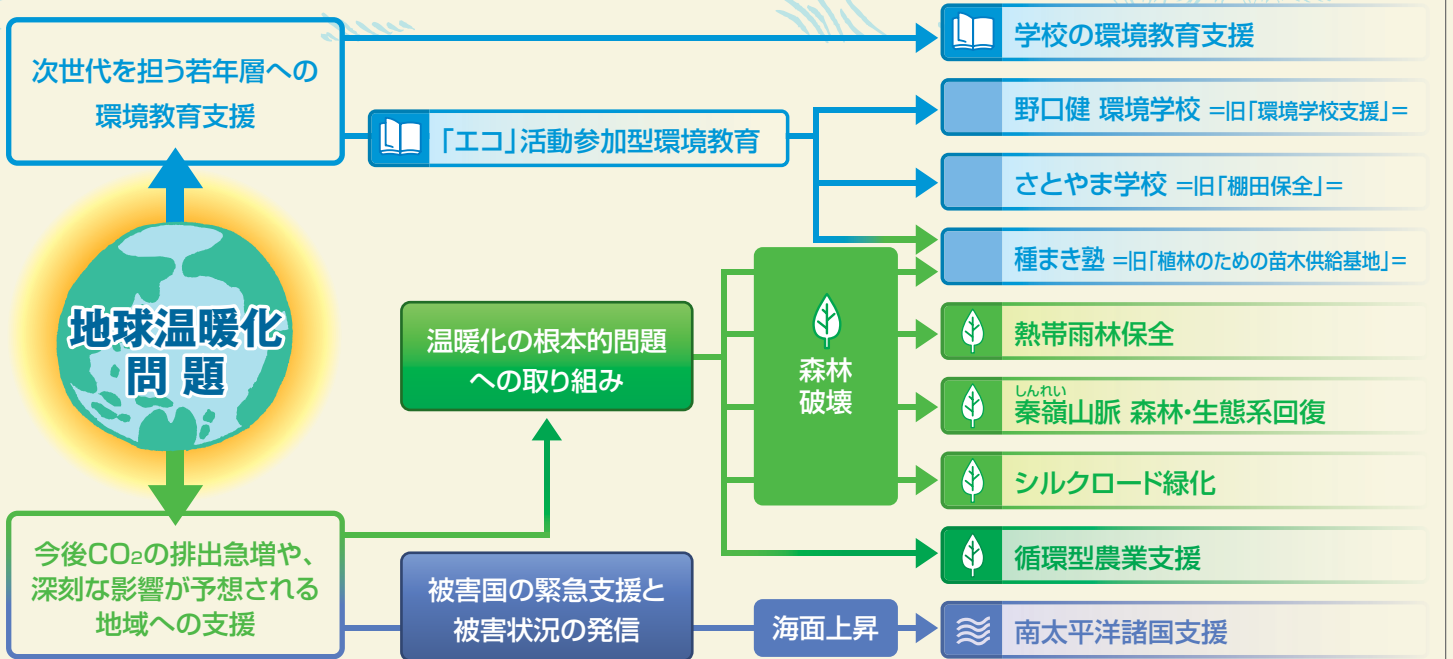


project 2008



持続可能な社会の実現

【プロジェクトのコンセプト】

「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトは、エコ会員の皆さまやNGO/NPO、海外の現地政府などの様々なパートナーの協力のもと、化石燃料である石油と関りの深い環境問題「地球温暖化の防止」への取り組みをテーマに、「持続可能な社会」づくりをめざす活動を進めています。「ずっと地球で暮らそう。」の合言葉の実現に向け、①持続可能な開発支援（途上国支援）と、②次世代の育成（環境教育支援）をサブテーマに、国内外で活動を継続しています。

2007年度の活動 トピックス



OISCA International技術顧問
荻原 美知勝

パプアニューギニア（以下「PNG」）における地球温暖化の被害

私がPNG東ニューブリテン州（以下「ENB」）に着任したのは1993年3月ですが、その当時と比べると地球温暖化によると推測される次の現象が見られます。①ENBの島のドック・オブ・ヨークは海面上昇の被害を受け島民移住計画を作成中。②約4年前から本島のハイランド地区でマラリア発症。③全国的に降雨量が増し、土砂崩れや道路崩壊の被害が各地で発生。④昨年9月には大型サイクロン「グバ」が発生しオロ州を中心に甚大な被害をもたらした。⑤雨季乾季の予測不能なため、作物栽培計画が策定困難。小規模な被害を入れると身の回りに幾つも見られます。

プロジェクト評議会開催

2008年3月27日に、プロジェクト評議会を開催しました。プロジェクト評議会では、「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトや当基金の運営について、有識者3名とコスモ石油エコカード基金の役員が意見交換を致しました。ここでは、プロジェクトの活動実績と計画の紹介のほか、地球温暖化防止プロジェクトの公募・外部監査（レビュー）の導入・資金管理の外部委託などを討議しました。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」



コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」は、「地球のために何かしたい」という思いを実現するための、どなたでも参加できるカードです。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」、コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」はお客様から毎年お預かりする500円とコスモ石油からの寄付金を、環境保全活動を行うNPOや公益法人などに寄付することで、その活動をサポートしていきます。

コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」
コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」
会員の皆さまからの寄付
入会后、及び次年度以降の入会月に
500円のご寄付をお預かりします



コスモ石油
グループの寄付

地球環境保全をサポートする
「ずっと地球で暮らそう。」
プロジェクトを運営

入会のご案内は
こちらから ▶

<http://www.cosmo-oil.co.jp/card/eco.html>

入会申込書はお近くのコスモステーションにもあります。